

当サービスでは、ISO4180「評価試験方法通則」に従い、輸送試験計画の立案、輸送試験の実施、試験実施後の試験報告書の作成、更にご要望に応じ、万一の試験不合格時の包装仕様見直しまでを支援するサービスです。

【質量30kg未満のパッケージの試験スケジュール】

番号	試験項目	Test type	規格番号
1	Conditioning	前処置	ISO2233
2	Shock	落下試験	ISO2248
3	Compression	圧縮試験 (静荷重)	ISO12048
4	Vibration	振動試験 (ランダム)	ISO13355
5	Vibration	振動試験 (繰り返し衝撃)	ISO13355
6	Compression	圧縮試験 (静荷重)	ISO12048
7	Shock	落下試験	ISO2248

【ISO4180輸送試験の特長】

■1980年に発行されて以来、長い間改訂されていなかったが、2009年2月によやく改訂版が発行された。

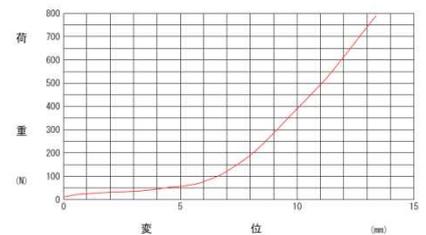
■ISO4180では、CASE1とCASE2の2セクションにわかれており、CASE1は自社の輸送環境が良くつかめているユーザー向けに各試験方法や条件を他のISO規格から選択引用できるようにガイドされている。

■CASE2は自社の輸送環境が分からないユーザー向けに、具体的かつ細かく試験方法や条件を規定している。また貨物重量で、①30kg以下、②30kg超100kg以下、③100kg超、の3つの貨物カテゴリに分類され、試験手順が定められている。

■試験レベル（強さ）は3段階あり輸送距離が2,500km以上の場合は、一番厳しい試験レベルで試験する事になっている。

【JBLの強み】

- (1) ISTA認定試験設備により信頼性の高い試験を実現いたします。
- (2) 社内にはISTA CPLPテクノロジスト、テクニシャンが在籍しており、ISTAとのアライアンスにより最新の専門情報を収集し試験に役立てる事が出来ます。
- (3) JBLが保有する試験機は大型貨物に対応しています。試験室内には大型の走行クレーンが完備され、パレタイズされた大型重量貨物も安全かつ迅速に試験出来ます。
- (4) 各種包装試験設備をバランスよく取り揃え、海外規格のシーケンシャル試験にも1拠点でほぼ全ての試験が実施できます。



圧縮試験時の様子